

## 第7回 新制大学の成立—旧制名古屋大学から新制名古屋大学へ—

### 0、前回までのポイント—専門学校から旧制名古屋大学まで—

- \*愛知県立医学校 →愛知県立医学専門学校(1903(M36)年 7月)
- \*愛知県立医学専門学校 →県立愛知医科大学(1920(T9)年 7月)
- \*県立愛知医科大学 →官立名古屋医科大学(1931(S6)年 4月)
- \*官立名古屋医科大学 →名古屋帝国大学(1939(S14)年 4月)
- \*名古屋帝国大学 →名古屋大学(旧制・1947(S22)年 10月)

### 1、戦後復興と旧制名古屋大学

#### (1) 戦後復興

- \*戦時体制の払拭：CI&E 設置(1945/9)とGHQ/SCAP(1945/10)設立。
- \*復興事業の開始：
  - ①「名古屋帝国大学復興計画」<資料1>
  - ②1946年以降、名古屋市復興計画案に組み込まれる。
  - ③1947年1月、名古屋市都市計画委員会が東山地区を名帝大用地とする計画決定。

#### (2) 新制名古屋大学への模索①—旧制度下での学部創設—

- \*4学部創設計画：
  - 旧制学部として農学部、法学部、文学部、経済学部を構想<資料2>。
- \*文学部、法経学部の設置：1948年9月4日設置。
  - 文学部=旧六連隊跡
  - 法経学部=経済・経営学科が名古屋経済専門学校、法律・政治学科が旧六連隊跡。

### 2、新制名古屋大学の発足

#### (1) 新制名古屋大学への模索②—新制度下での学部創設—

- \*教育学部(1949/5/31)：CI&Eによる教育学部設置要請<資料3>
- \*教養部(1949/7/1)：一般教育担当部局として、「教養部」(学内呼称)設置。瑞穂分校・豊川分校。
- \*農学部(1951/4/1)：名古屋大学農学部創設後援会の組織。愛知学芸大学安城分校を転用。

#### (2) 新制名古屋大学の発足

- \*1949/5/31 付設置認可：教育学部、文学部、理学部、工学部、法経学部<資料4>。
- \*1951/1/31 付設置認可：医学部。
- \*組織・機構：国立学校設置法(1949/5/31)による。
  - 6学部(文・教・法経・理・医・工)、2附置研究所(環境医学・空電)、附属図書館、4学部附属研究施設。講座制と学科目制
- \*新旧名古屋大学の並存：
  - 1953/3 末までは、医学部および大学院を除く学部で新旧並存。
  - 医学部は1955/3 末まで並存、大学院は1962/3 末まで並存。
- \*キャンパス概観<資料5~8>
  - 「名城キャンパス雪景色」(1960年頃) / 「1954年頃の東山キャンパス」
  - 「1958年頃の鶴舞キャンパス」 / 「安城キャンパス」(1954年頃)

### 3、旧制諸学校の包括・廃止

#### (1) 旧制諸学校の包括

\*新制名古屋大学 ← 名古屋大学、名古屋大学附属医学専門部、第八高等学校、名古屋経済専門学校、岡崎高等師範学校

#### (2) 包括学校の廃止

\*第八高等学校：1950/2/4 最後の卒業式、1950/3/31 廃止。

\*名古屋経済専門学校：1951/3/11 最後の卒業式、1951/3/31 廃止。

\*岡崎高等師範学校：1952/3/25 最後の卒業式、1952/3/31 廃止。